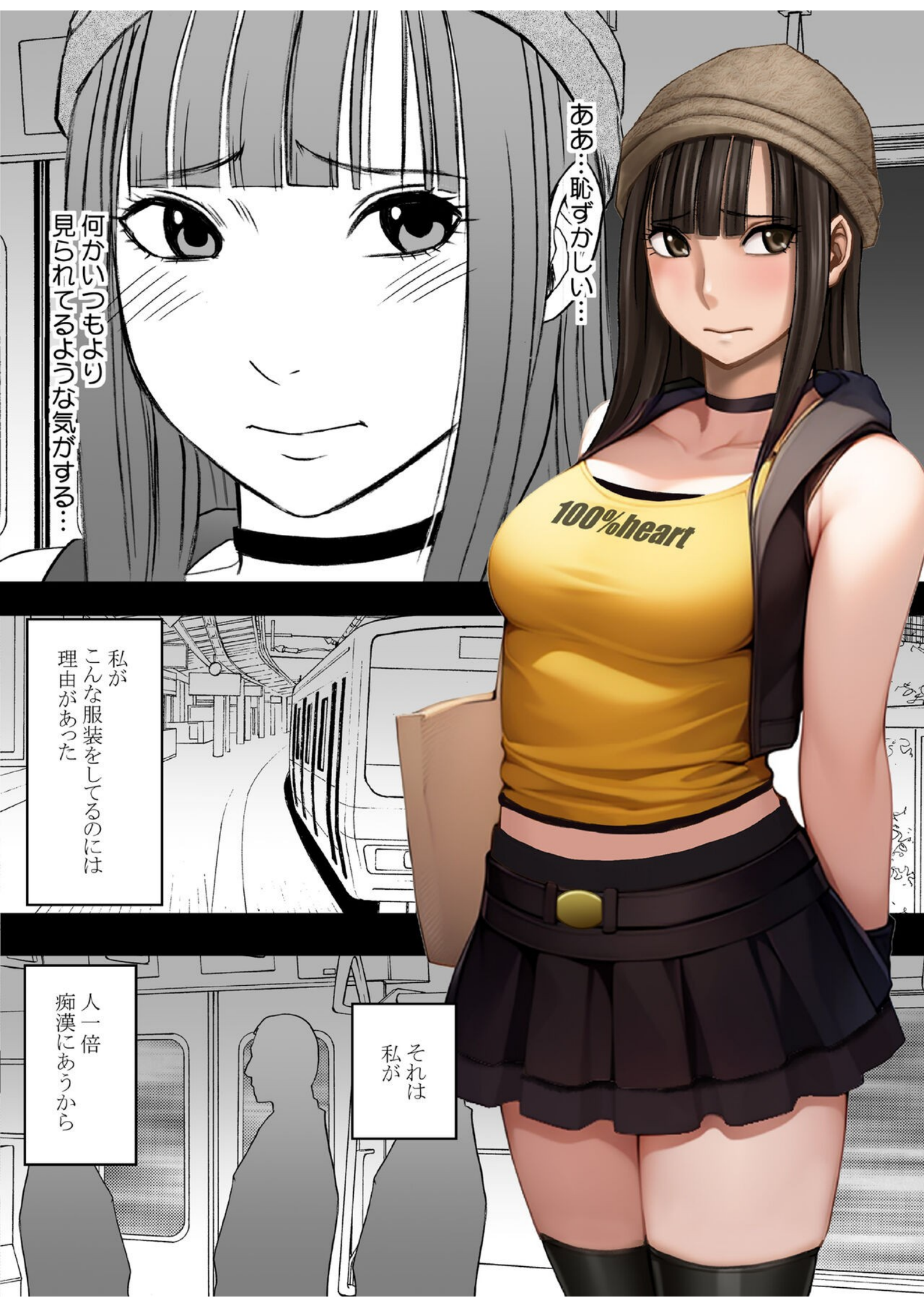






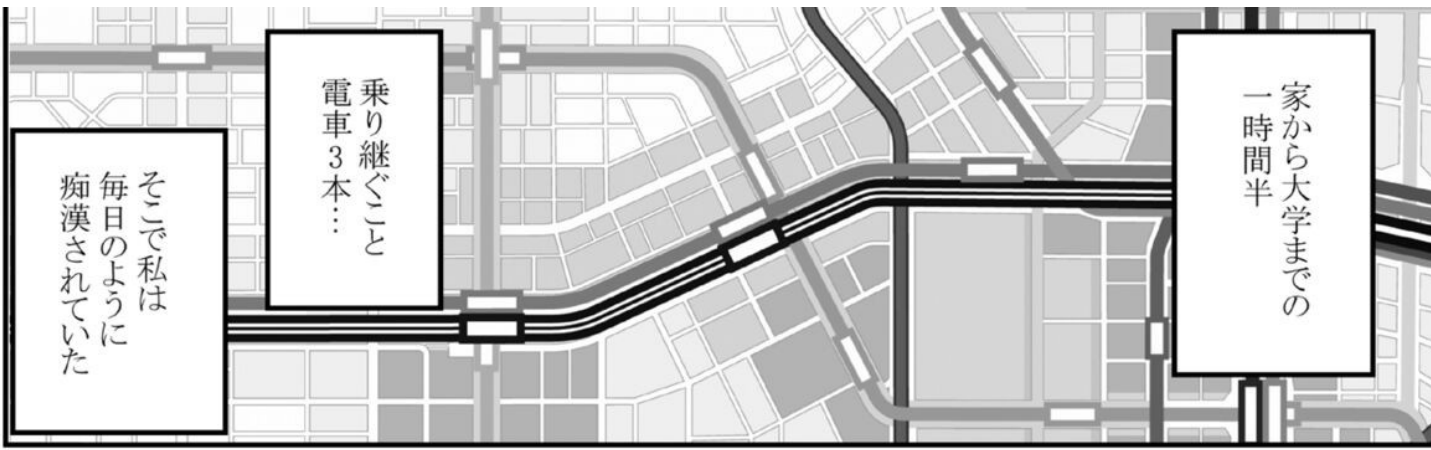
ああ…恥ずかしい…

何かいつもより
見られてるような気がする…

私が
こんな服装をしてるのには
理由があった

人一倍
痴漢にあうから

それは
私が



家から大学までの
一時間半

乗り継ぐこと
電車 3本…

そこで私は
毎日のように
痴漢されていた



そつとお尻を
撫でられたり

電車に揺られてるフリをして
肘でつつかれたり…

多い日には一日に
2度も痴漢されることもあった



嫌で嫌で
しょうがなかったけど

私はこの
自分から
はつきりと
声を出せない性格のせいで

今までずっと
損をしてきた

そこで
友人に相談したところ

何か痴漢って
ミニスカートとかの
女の子よりも

地味で抵抗しなさそうな
女の子のほうを狙うらしいよ

だからみつちゃんも
逆にエッチな服装にしたら
痴漢されなくなるんじゃない？

ガッタン

うっ…
アオイちゃんに
薦められるままに
こんなギャルみたいな
服装になっちゃったけど…

でも…
たしかにいつもよりも
男の人たちが私に
密着してこない…

それどころか心なしが
少し距離があいてるような…

ホントに
アオイちゃんの言ってた
通りなのかも…

ガッタン

ホントに大丈夫かな…

ちよつと恥ずかしいけど

痴漢されないのであれば
こんな服もいいかも…

そう心の中で
思い始めていた時

ガッタン

それを
あざ笑うかのように

一人の男の手が

ズッ

私の体に伸びてきた



第1話

揺れる電車と 支配者との遭遇



いやっ…!!
痴漢…?

!!

さゆっ

うそっ…
やっぱりこの服でも
ダメなの?



普段こんなに
短いのを
はかないから
知らなかったけど

ミニスカートって
こんなに
無防備なの?

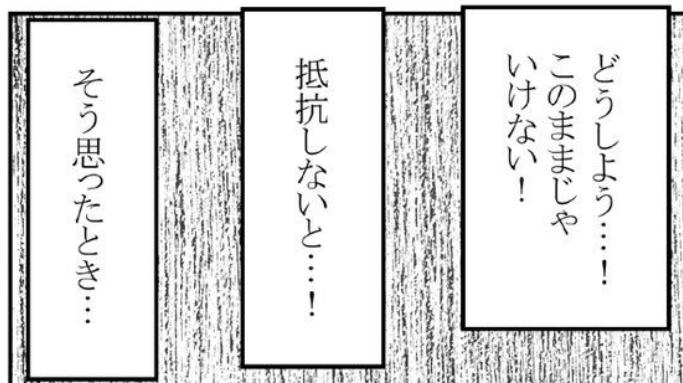


どうして…

こんなミニスカートじゃ
手の感覚がダイレクトに伝わってくる…

手が地肌にあたっちゃう!

さわさわ



どうしよう…!
このままじゃ
いけない!

抵抗しないと…!

そう思ったとき…



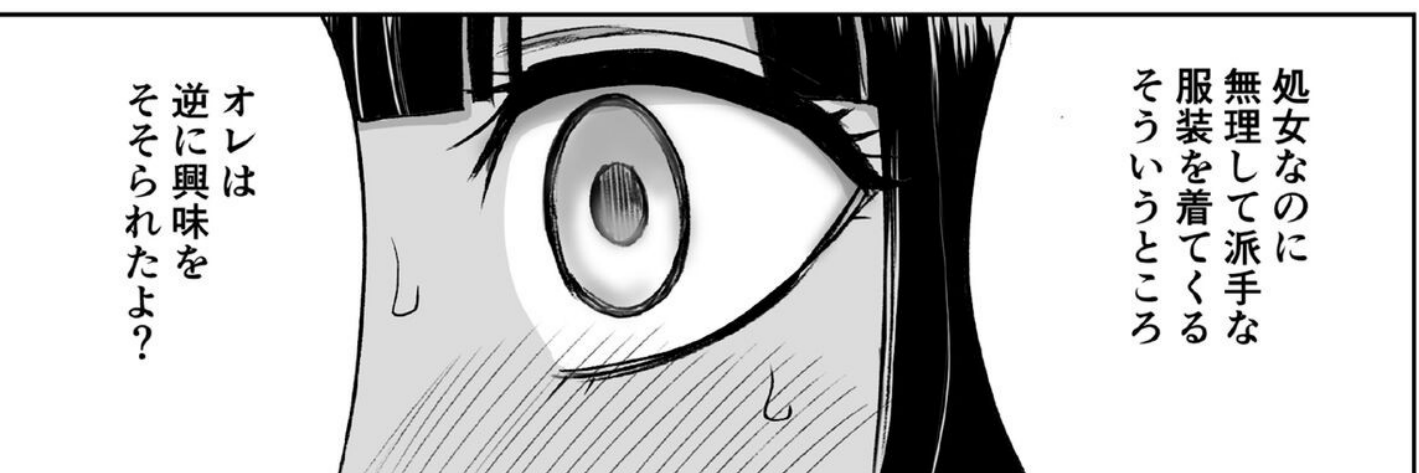
キミ…
地味な服装で
よく痴漢にあつた
コだよな

……!!



派手な服装にしたら
痴漢にあわないとでも
思った?

確かに
他の痴漢たちは
敬遠するかも
しれないけど…



処女なのに
無理して派手な
服装を着てくる
そういうところ

オレは
逆に興味を
そそられたよ?

その一言で
私の抵抗は凍りついた

私は
この男の人に

すべてを
見透かされている

そんな
錯覚に陥って

フフフ…
普段はジーンズや
厚手のスカートをはいて
痴漢の手の感触を
『防御』していたんだろうけど

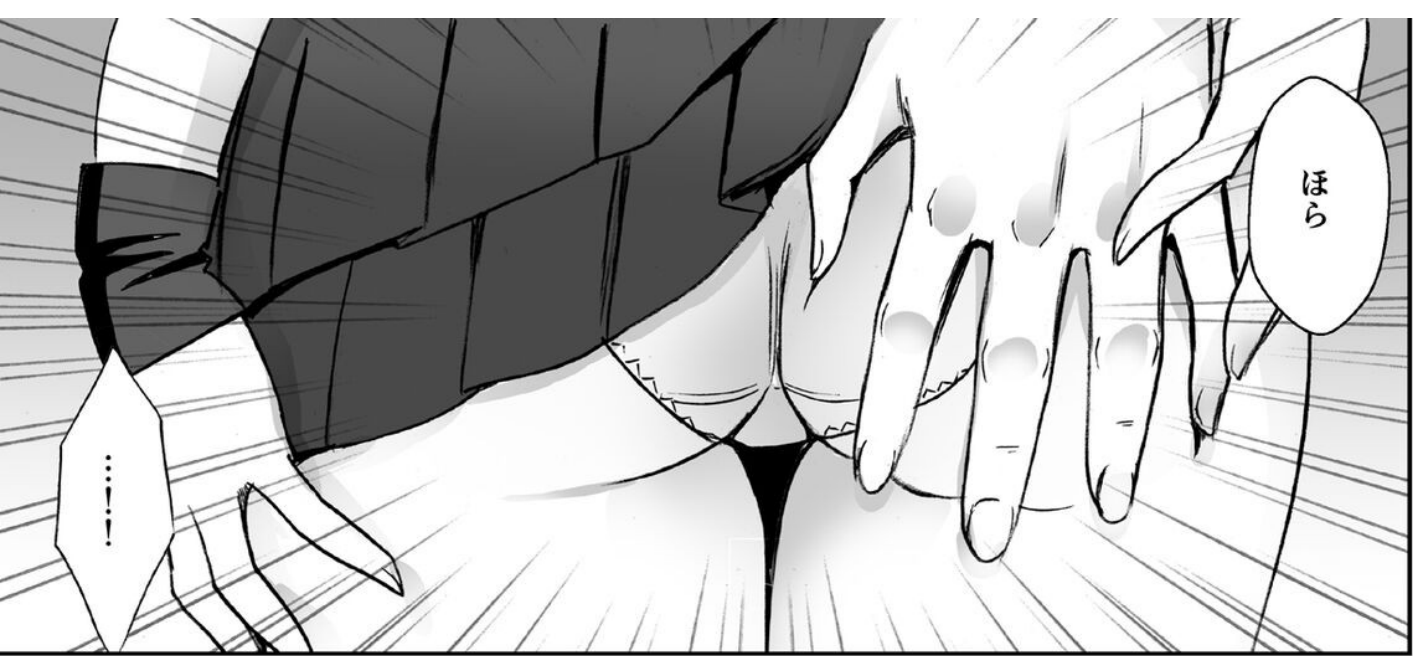
今日のミニスカートじゃ
何も防ぐことができないね

何もできなくなってしまった

ガタン

さわ
さわ

ガタン





完全にパニック状態に
なっている私に

今まで何度も痴漢にはあつてきたけど
こんなに大胆に堂々と
胸を揉んでくる人は初めてで…



えっ？
胸をもまれてる…！

そんなっ…



その男はさらなる
追い討ちをかけてきた



ブラジャーは地味な
ままだったね

見せかけだけ
派手にしても
内面は地味な処女のまま
まさに
今のキミを
あらわしている
ようだね

さて…
じゃあここからは

キミのもっと
内側の

誰にも
見せたことのない
部分に
触れていこうか

ああっ！

やだっ…何これ…！

この人の触り方…！

こんなの初めて…！

100%heart

胸がしびれる！

はじめての感覚で戸惑ってるのかな？

本当に男の人に触られるってことが
どういうものなのか

頭のとっぺんが
ゾクゾクする……！

首筋がビリビリする！！

痴漢には
さんざん
触られたことがあるけど
男性経験はまるでない君に

声が…声が出そうになる……！

しっかりと
教えてあげようか





結構
濡れてるね

やっぱり気持ちよく
なっちゃってたんだね



ココに触られるのは
初めてなのかな？

何度も痴漢にあったことがある
キミでも



それから数十分間

私は一方的に
廻られ続けた

100%heart

パンツの上から
アソコを擦られ

胸を揉まれ
乳首をつままれる



その繰り返し

また触られる…



手で止めようとしたり
逃げようとしたりしても

動きを読まれているのか
カンタンにいなされ

私にとって
それまでの
痴漢はただ

『気持ち悪いのを
ガマンする』

それだけの
ものだった

でも今は違う

今…私は

『気持ちイイのを
ガマンしてる』





目が眩みそうになるほどの
恥ずかしさと…

今まで体験したことのない
未知の感覚…

終わりがないかのように
思えるほどの時間

耐え続けた

そこに
突然

ひとつの終わりが
見えた



えっ…



カラダが熱くなつて…!



待って…!
な…何これ…!?

この感覚…!



…何かが果てそうなのッ…!

ギッ
ギッ





しかもその様子を見ると
今までイッたことが
ないようだな

フフフ…

いゃっ…!

恥ずかしい…!
恥ずかしすぎる…!



何で…!

こんな感じで…!



やだ…!
ガマンできない…!

触られているところが
気持ちよくなって…

アハハ



電車の中で
知らない男に
触られて

人生で
はじめての絶頂を
迎えるか?

でも…

でも…!

私このまま…!!

100% heart

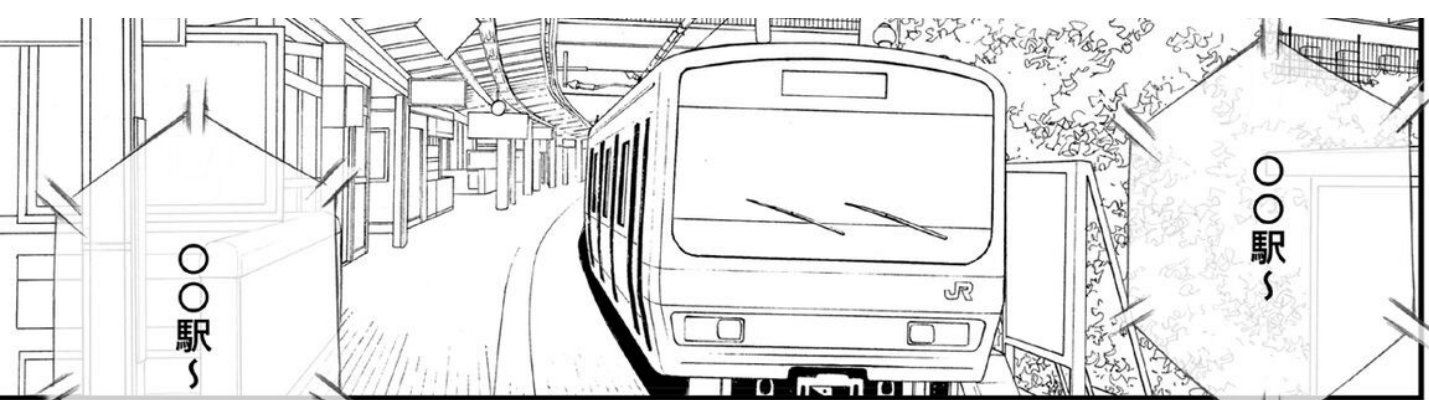
ズン

ズン

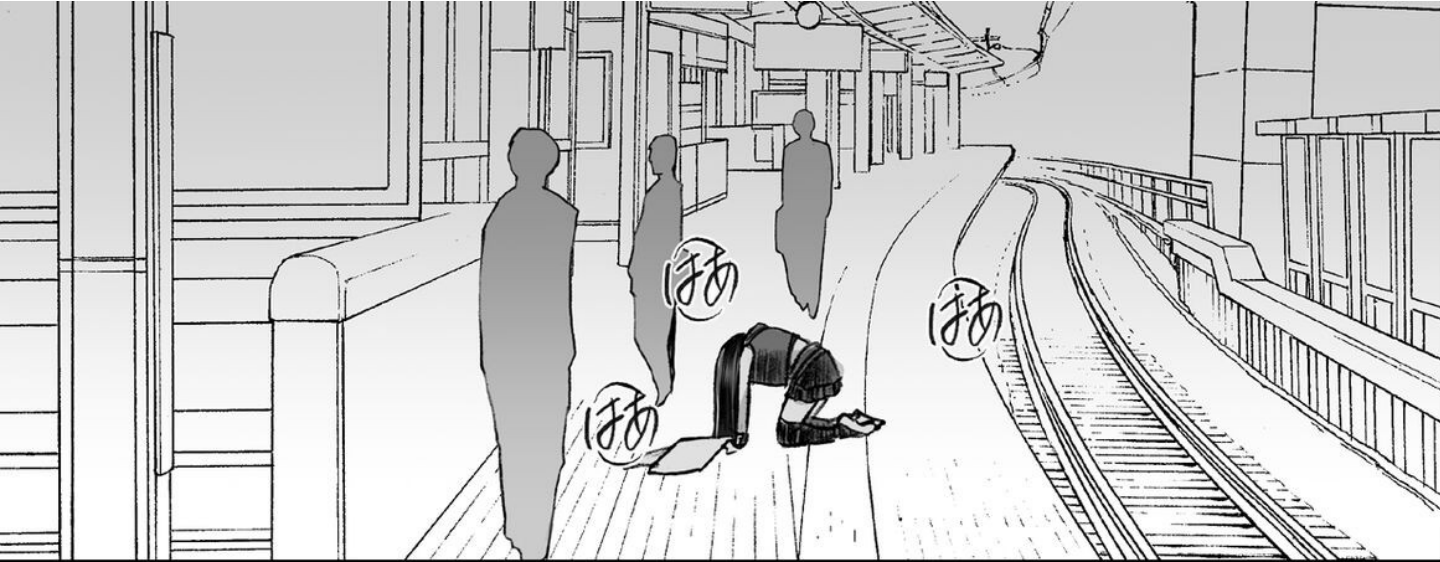
グググ

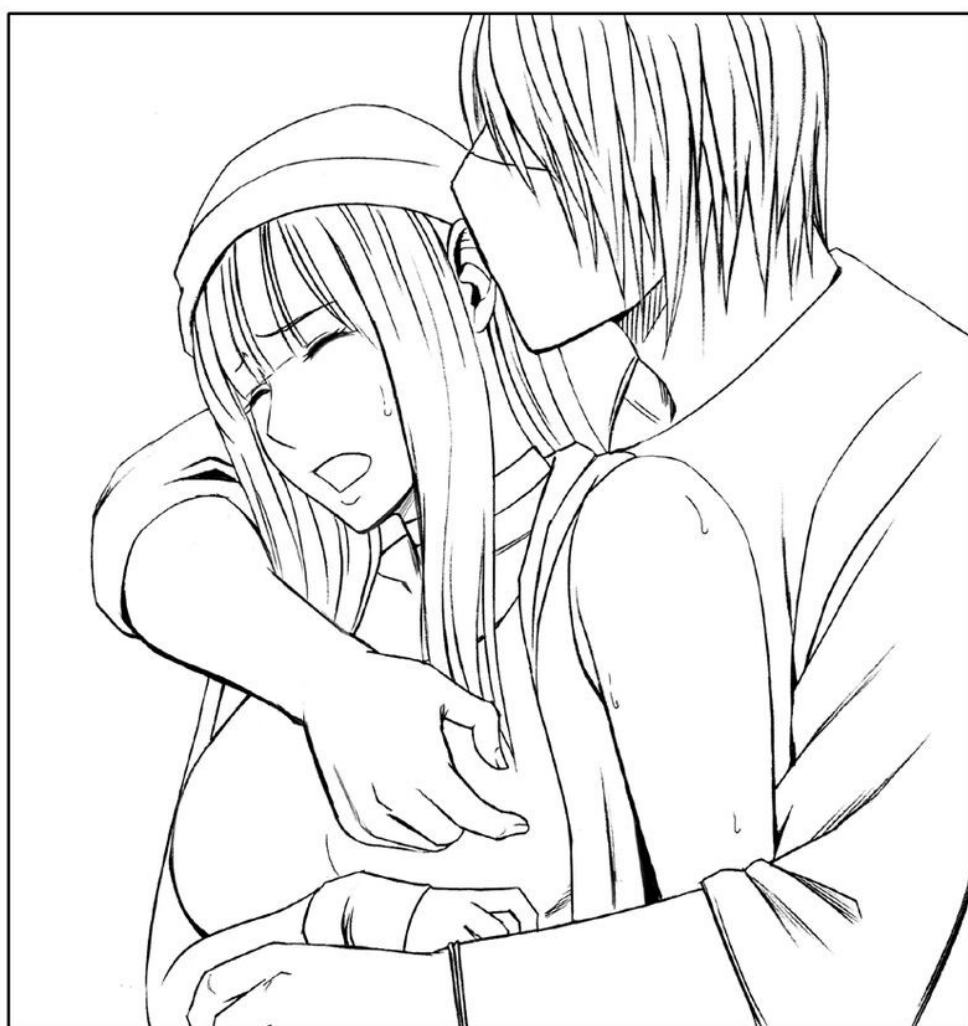
グググ











大学までの
1本目の電車と
2本目の電車…

この二つは
よく痴漢にあうから

いつも気を
張ってなくちゃ
いけない…

でも3本目の電車では
痴漢にあつたことはない

それは3本目の電車は
比較的に空いていて
いつも座れるから

この車内だけは
安らげる空間だった

それにしても

あの人は
何だったんだろう…



キミ…
地味な服装で
よく痴漢にあったた
コだよな

不思議な声で
囁いてきて…

……
!!



あんなふうに…
胸やお尻だけじゃなく…

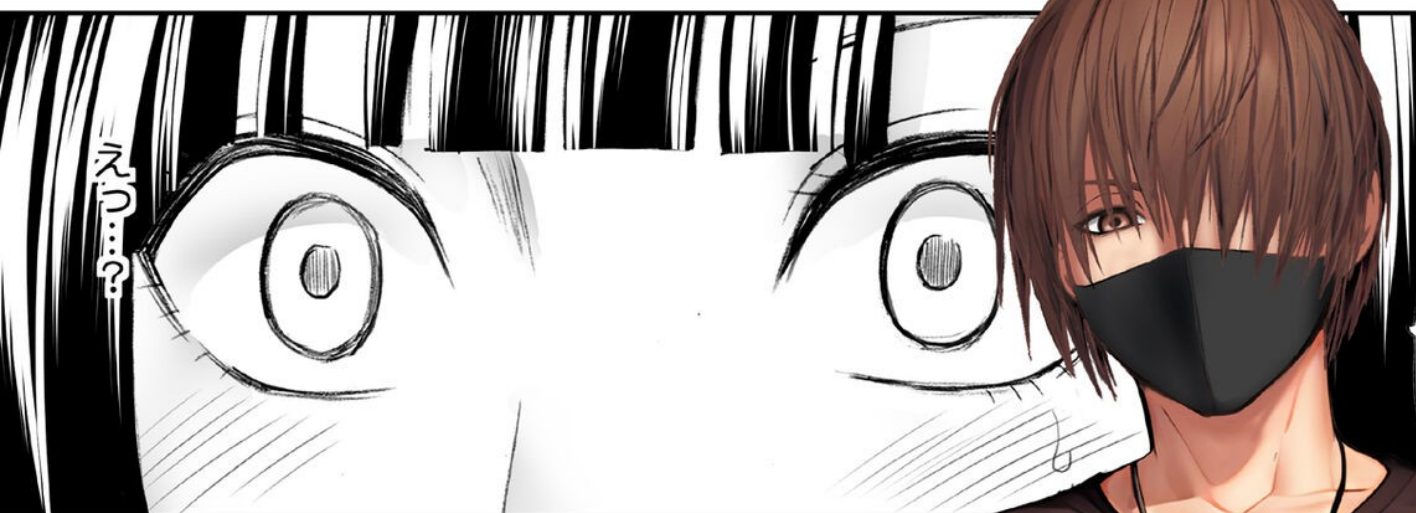
アソコまで…

しかも私…
もう少しでイキそうに…



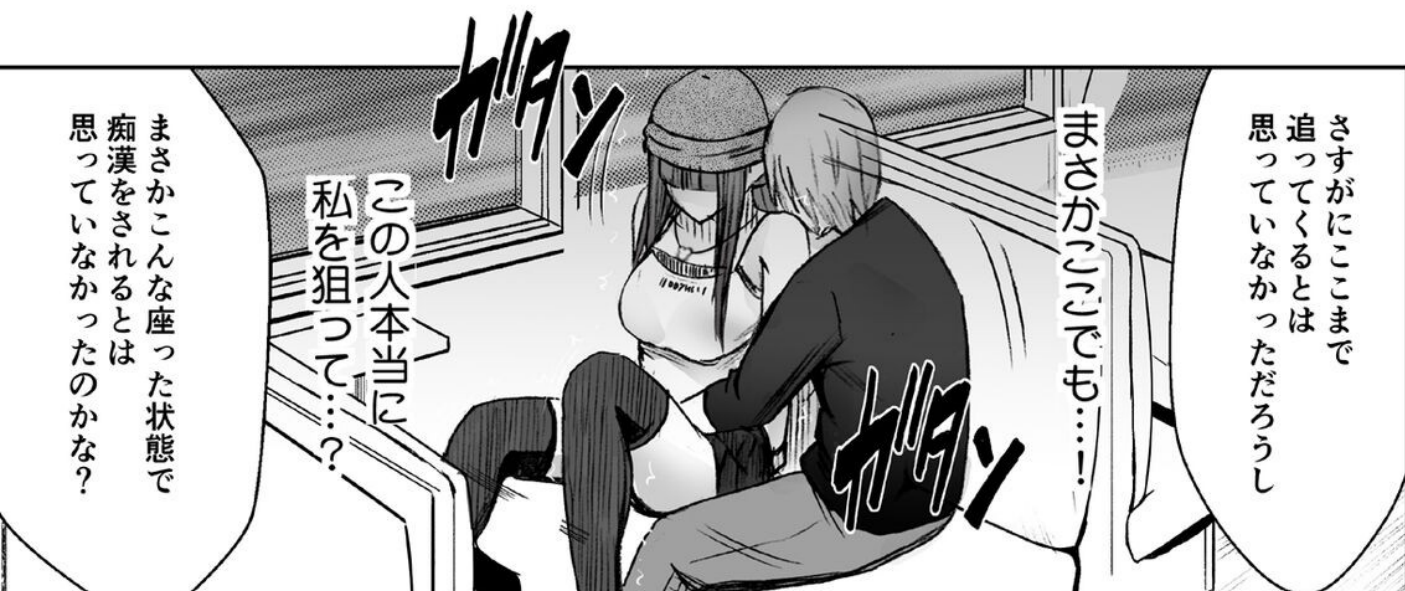
違う…
そんなことはない!

私は痴漢の手で
なんか…!



第2話

清純なカラダに
潜んでいた素質



100%heart

ああ…この
イスに座った状態じゃ…

んっ…

もっもっ

でも怖がらなくても
いいんだよ…

優しく触って
あげるからね

びく

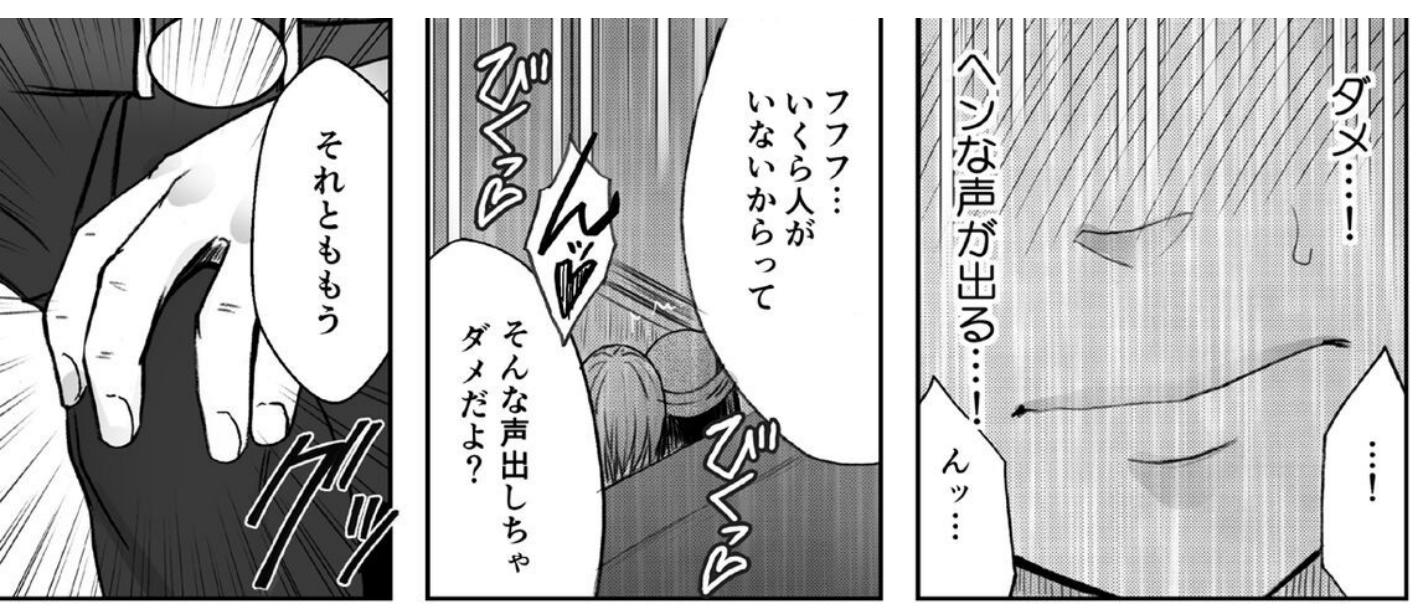
…ッ！

もう逃げられない！

100%heart

ひひひ

ひひひ



ソコを触られると…

やっぱりもう
気持ちよくて
どうしようもないんだね

100%heart

さっきまでの感覚が
戻ってくる…!!

私…さつきの電車でイキそうに…!!

イッす前で止められて…!!

電車を降りたときから私のカラダ…
火照ったままで…!!

このままじゃ…!!





これ以上気持ちよくなっちゃたら…

私…!!

処女のキミは
まだ中は
キツいだろうから

グッ

まずは指一本で…

フル♡

ダメ…!!

ダメなの…!!

そこはっ…!!

フフフ…
しないんだね
拒絶を

ぬい

じゃあ…



やッ…やっぱりダメ…！

許して…くださいッ！

ヌル♡

本当にそう
思ってる？

さっきの電車を降りるときも
そうだったよね

せっかく逃げることに
できる駅に到着したのに

びく♡

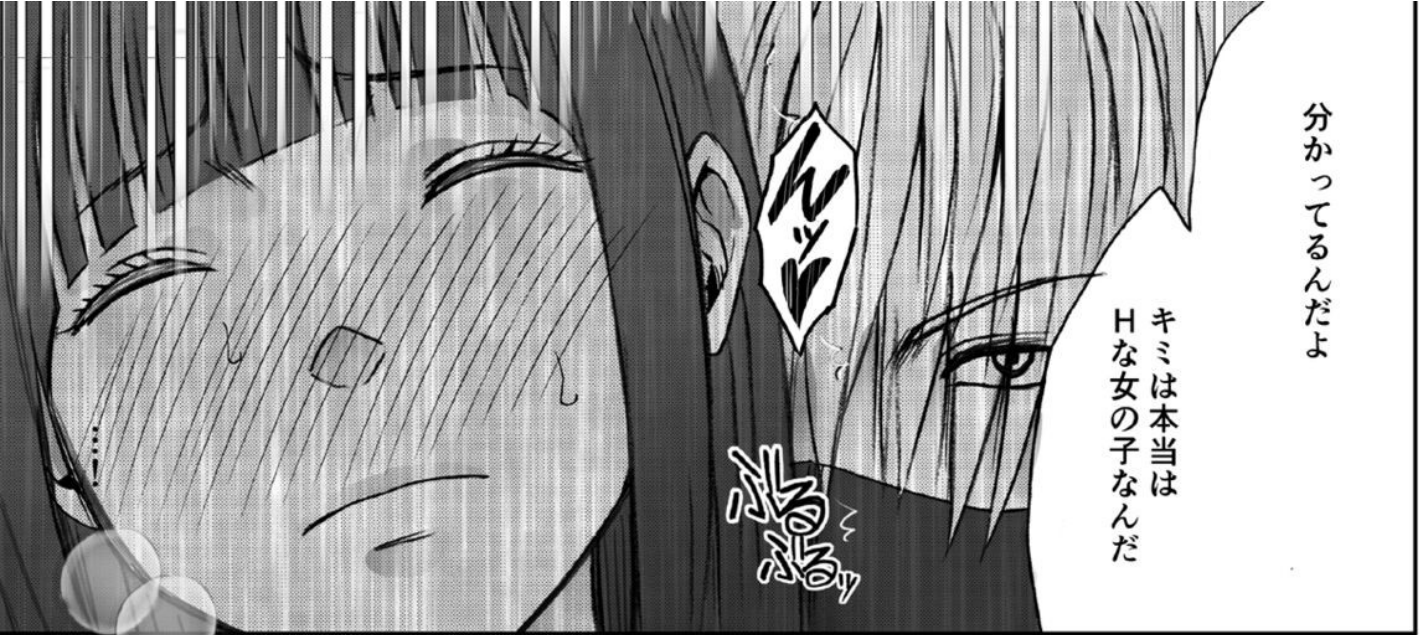
びく♡

もうちょっとで
イキそうだったから

一瞬降りるかどうか
ためらったよね

ハッ♡

ハッ♡



分かってるんだよ

キミは本当は
Hな女の子なんだ



キミのHな素質を



電車の中で
痴漢されてるキミを見て
いつも思ってた

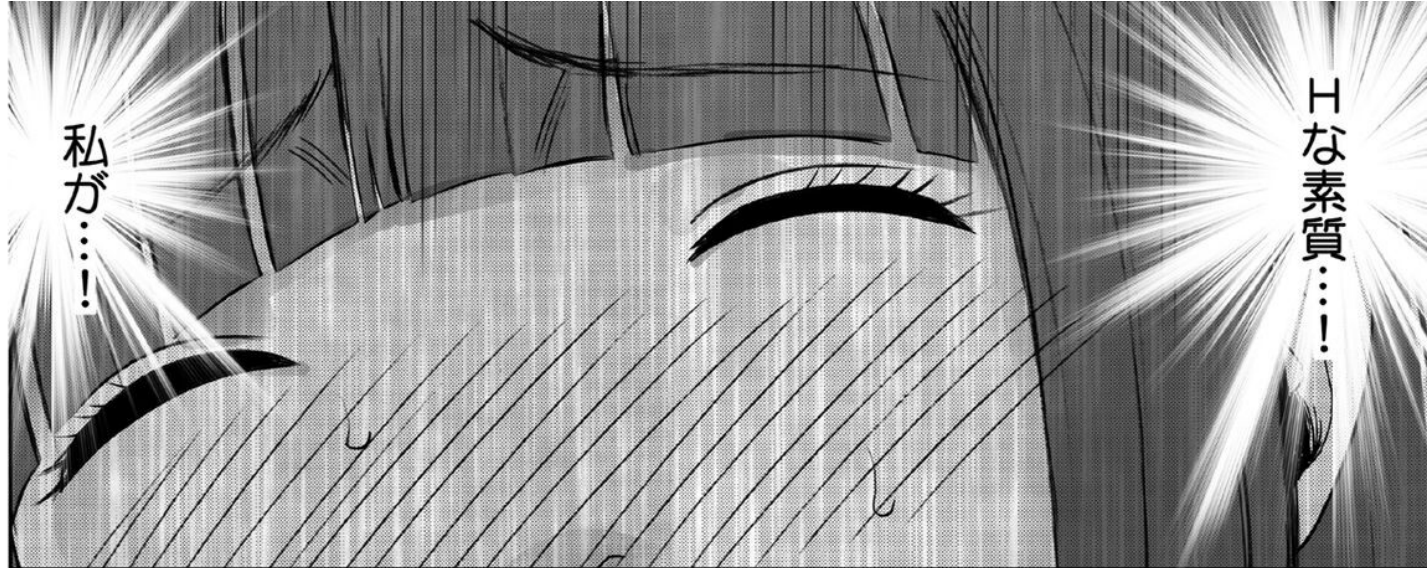
キミはHな素質を
秘めてるって



なぜキミばかりが
Hな男たちに狙われるのか…

男たちも無意識のうちに
嗅ぎ分けてるんだろぅね





Hな素質……!

私が……!



へたくソな男たちに
痴漢されてるキミを見ていて
もったいないと思ってたんだ

……!!

オレならキミの素質を
もっと上手く
開花させることが
できるって

ハッ

ドキッ

プルッ

ダメ……！
もう何もわからない……！

フフフ……
電車の中で
胸を露出
させられて

でも気持ちいい……！

興奮が
抑えきれなく
なってるよね

これがイクってことなの？！

ズン、ズン、ズン……

ダメなのに……！

ピン、ピン、ピン……

こんなところで
イッちゃったら
ダメなのに……！

こんな無理矢理……
ダメなのに……！

ググググ……

ググググ……



その時の私には
もう

どうすることも
できなかった



もちろんそれが
いけないことだとは

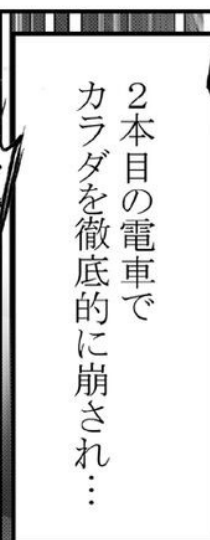
分かっていた



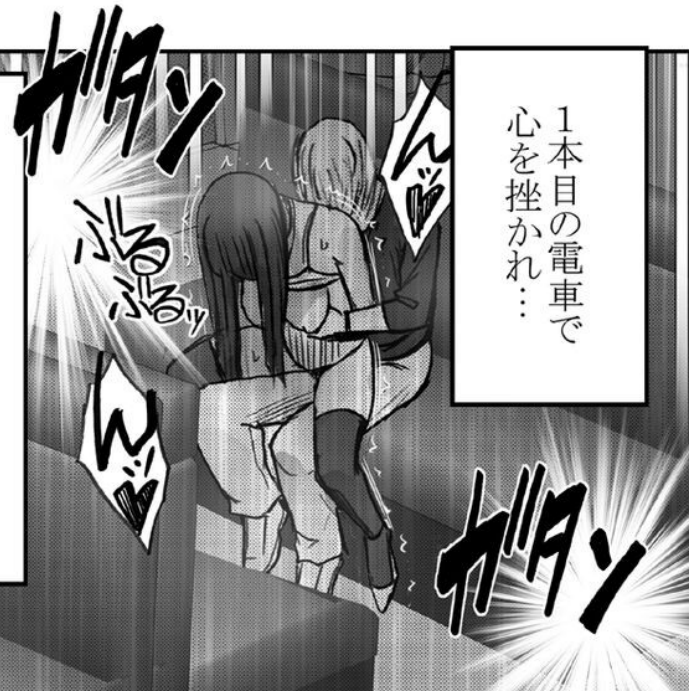
それでも



そして…



2本目の電車で
カラダを徹底的に崩され…



1本目の電車で
心を挫かれ…



5月4日…

通学途中の
3本目の電車で

オナニーでイッたことも
無かった私は

見ず知らずの
男の手によつて

私は生まれて初めての
絶頂を

教え込まれた…



電車の中で痴漢されて
見知らぬ人に
教えられた――

生まれてはじめての
エキスタシー

その日はもう何も
頭に入らなくて

一日中呆然としたまま
帰宅した……

家に帰って
気づいたんだけど

バッグの中に……



何で私のバッグに……？

だ！誰が入れたの？



誰が……こんな……？



な……何これ……？

これ……本でみたことがある……

たしかロバター……？

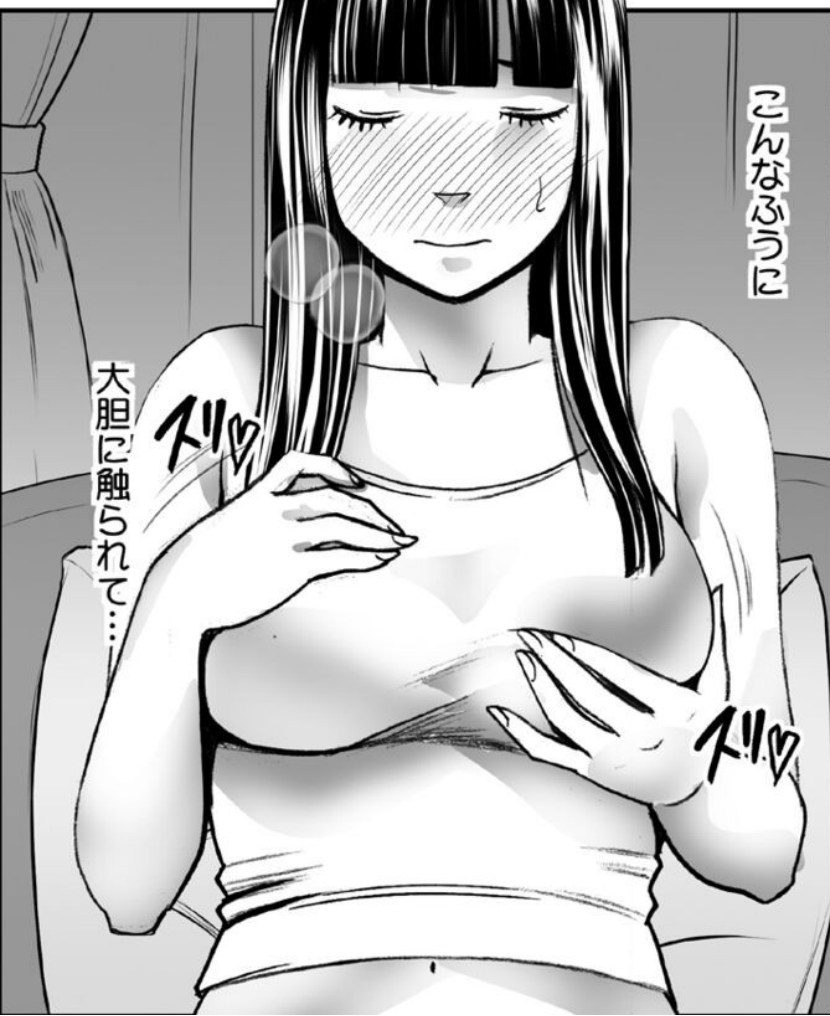


まさか……

今朝の痴漢が……

第3話

強制じゃないけど
強制に近い誘導



乳首も…

こんなふうに…

優しいタッチで
いろいろ回されて…

きゅん

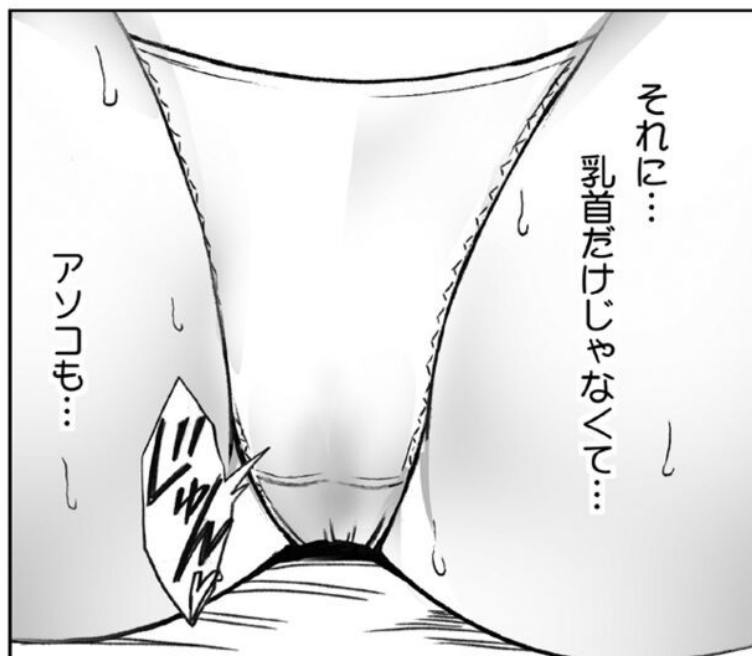
さきつぼを
くりくりされて…

かりかり

かりかり

知らなかった！

私…



こんなふうに…

優しくなでる感じで…

スッ

パンツの上から
何度も何度も…

何十分も
触られ続けて…

触られて…イヤなはずなのに…
恥かしいはずなのに…

スリ♡
スリ♡

スリ♡
スリ♡

私：電車の中で
あんなに感じて…

最後の電車では
パンツの中にまで手を…

濡れたアソコを
指を入れられて…!!

止めなきゃ
いけなかったのに…!!

もう…
止められなかった…!!





やだっ！

びくっ

私…何を考えてるの？



ダメシ……！

アッ
アッ

あの時のことを
思い出しながら
オナニーしてるッ……！



あの人の指が
動きたびに…

どんどん
引きずり込まれていつて…

スッ
スッ



もうやめよう！
こんなこと……！

こんなこと
続けてると……！



あのときの感覚が蘇ってきて…

あの人に…
弄ばれてるみたいな錯覚に…

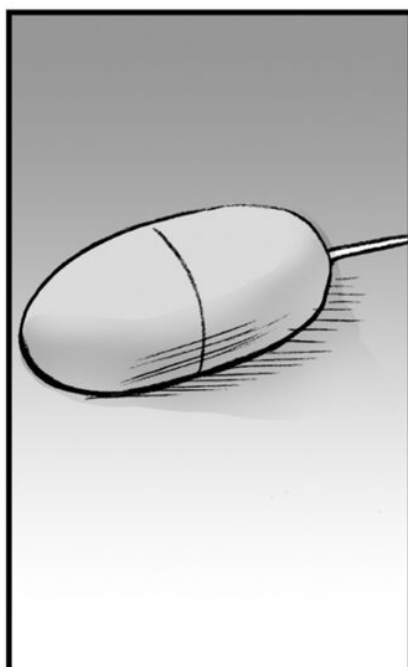
こんなこと
やめないと…！



このままじゃ
終われなくて…！



でも…でも…！
カラダが火照って…！



ちよつとだけ…!!

ほんの
ちよつとだけ…!!

ホントはダメ…

こんなこと
ダメなの…!!

ほあ

ほあ

痴漢にもらったローターで
オナニーするなんて…

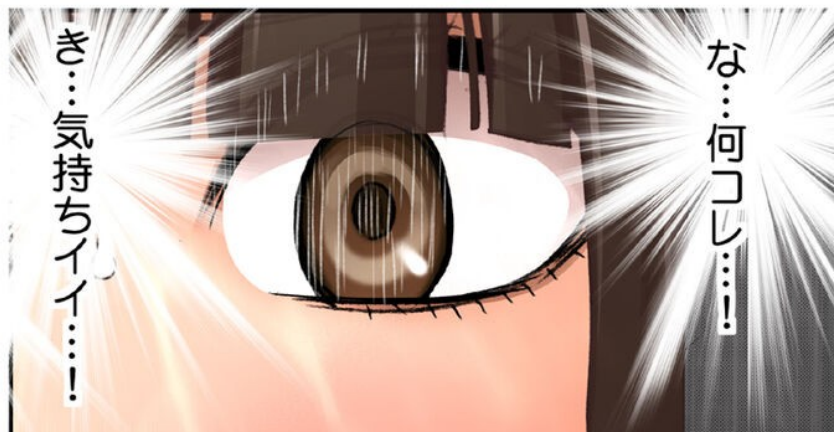
そんなの絶対に
いけないこと…

ズッ

ちよつと試したら
すぐにやめる…

だから…

ズッ





このままじゃ
すぐイッちゃう!!

痴漢にもらった
□ターなんかで
イクなんて…

こんなことしたら…



……!



オレならキミのHな素質を
もっと上手く
開花させることができるって



まるであの人の

思い通りに
なってるみたいで…!

ちーっ！違う！

私はHな女の子
なんかじゃない！

違うの！
絶対に！

もう終わリシ！

早くローターを
止めないと…！

ローターを…！

本当にもう
やめようと思っていた

でも…
引き返せなかった

そればかりか

今日一日分の快感が
一気に蘇ってきて…

妄想が
止まらなくなつて…



また電車で
あの人と遭遇した
私は

前回よりも
もっと大胆なことを
されて



徹底的に
何度も何度も
イカされて





何も
できない…！

電車の中で…
されても…！

きつと
私…！

何もできずに…！



耳元で
ゾクゾクするような
言葉を囁かれながら

体の奥まで
感じさせられて

今までに
味わったことのないような
快感で翻弄されて…!!





それまでの私のオナニーは
ただ気持ちよくなる
だけで

イクところまでは
行ってなかった

でも…

一度男の人に快感を
覚えさせられた
私のカラダは…

もう止まることは
できなかった…

その日…結局

疲れ果てて眠るまで

6回もエクスタシーに
達した…